

# 中段セット Vシリーズ

シナ/シェルホワイト

## 施工説明書

必ずお読みください

**NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社**

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

### 施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

### ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はしかねますのでご注意ください。

#### 施工上のご注意



#### 屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



#### キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



#### そり・ねじれ厳禁

躯体に使用する木材は乾燥材で通直な物を選んでご使用ください。



#### 水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



#### 溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。



#### 火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



#### 躯体精度

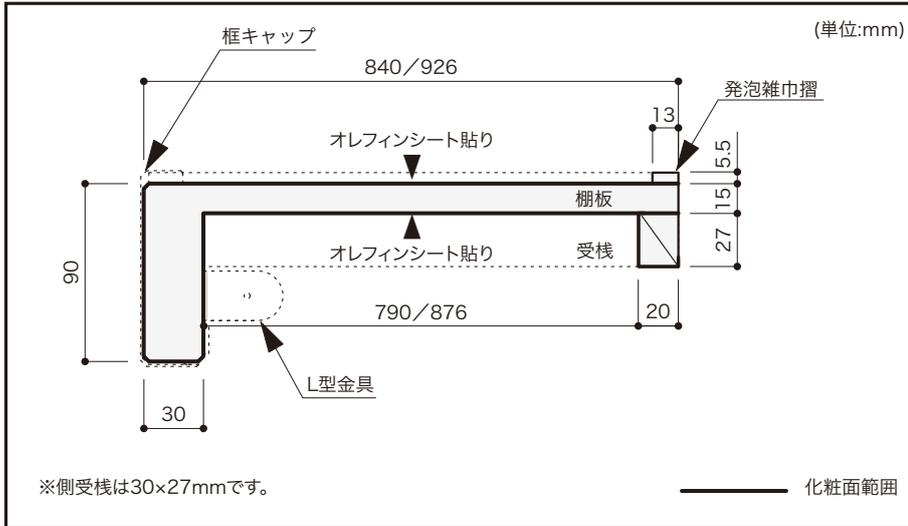
躯体の垂直度、床の水平度を正確に出して施工してください。



#### 補強

間口が2Mを超える場合(例えば9尺間口など)は束などの補強材もしくは棚受などを使って充分な補強を施してください。

### 製品断面図



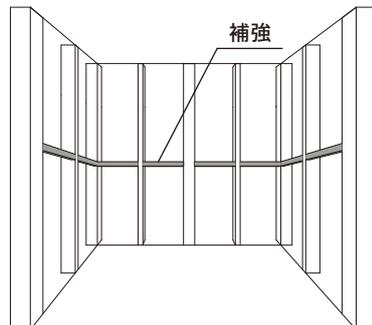
### 下地施工について

壁材(合板・石膏ボード)取り付け前に、下地の位置をご確認ください。前框・受棧のビス止め位置に下地がない場合は、必ず下地補強を施してください。

#### 壁面の下地処理

棚板の受棧の取付位置に間柱・補強棧等の下地処理を施してください。

※棚板の荷重強度は下地強度によって大きく左右されます。充分な補強を行なってください。

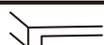


# パーツセット明細

以下の部品がすべて揃っているかをご確認ください。

(寸法単位:mm)

尺モジュール	3尺(840×897)		4.5尺(840×1350)		6尺(840×1800)		9尺(840×2700)	
部材	サイズ	入数	サイズ	入数	サイズ	入数	サイズ	入数
棚板 	90×840×897	1枚	90×840×1350	1枚	90×840×1800	1枚	90×840×2700	1枚
受棧 	20×27×897	1本	20×27×1350	1本	20×27×1800	1本	20×27×2700	1本
	30×27×790	2本	30×27×790	2本	30×27×790	2本	30×27×790	2本
雑巾摺 	13×5.5×897	3本	13×5.5×1350	1本	13×5.5×1800	1本	13×5.5×2700	1本
			13×5.5×897	2本	13×5.5×897	2本	13×5.5×897	2本
ビスセット 	L=65	11本	L=65	12本	L=65	13本	L=65	15本
	L=20(框キャップ用)	2本	L=20(框キャップ用)	2本	L=20(框キャップ用)	2本	L=20(框キャップ用)	2本
	ビスキャップセット	13セット	ビスキャップセット	14セット	ビスキャップセット	15セット	ビスキャップセット	17セット
	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本
	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本
耐荷重シール 		1枚		1枚		1枚		1枚
框キャップ(左右) 	98.5×49×14.5	各1枚	98.5×49×14.5	各1枚	98.5×49×14.5	各1枚	98.5×49×14.5	各1枚
L型金具 	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個
束 		-		-		-	27×40×1250	1本

メーターモジュール	1M(926×945)		1.5M(926×1445)		2M(926×1945)		3M(926×2945)	
部材	サイズ	入数	サイズ	入数	サイズ	入数	サイズ	入数
棚板 	90×926×945	1枚	90×926×1445	1枚	90×926×1945	1枚	90×926×2945	1枚
受棧 	27×20×945	1本	27×20×1445	1本	27×20×1945	1本	27×20×2945	1本
	27×30×876	2本	27×30×876	2本	27×30×876	2本	27×30×876	2本
雑巾摺 	5.5×13×945	3本	5.5×13×1445	1本	5.5×13×1945	1本	5.5×13×2945	1本
			5.5×13×945	2本	5.5×13×945	2本	5.5×13×945	2本
ビスセット 	L=65	11本	L=65	12本	L=65	13本	L=65	15本
	L=20(框キャップ用)	2本	L=20(框キャップ用)	2本	L=20(框キャップ用)	2本	L=20(框キャップ用)	2本
	ビスキャップセット	13セット	ビスキャップセット	14セット	ビスキャップセット	15セット	ビスキャップセット	17セット
	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本	化粧ビスL=30(L型金具用)	4本
	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本	化粧ビスL=65(L型金具用)	2本
耐荷重シール 		1枚		1枚		1枚		1枚
框キャップ(左右) 	98.5×49×14.5	各1枚	98.5×49×14.5	各1枚	98.5×49×14.5	各1枚	98.5×49×14.5	各1枚
L型金具 	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個	40×25×1.6	2個
束 		-		-		-	27×40×1250	1本

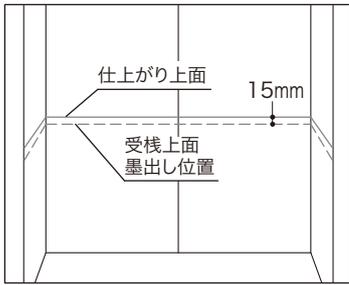
# I型の施工手順

※受棧(後・側)を固定の際に直接ビスをねじ込むと割れる可能性があります。  
あらかじめφ3mm位の下穴を開けておいてください。

※ビスの種類、打ち位置、本数は **ビス打ちの基本本数・打ち位置** をご参照ください。

※間口2M以上の場合は必ず **間口が2M以上の場合の補強方法** をご参照ください。

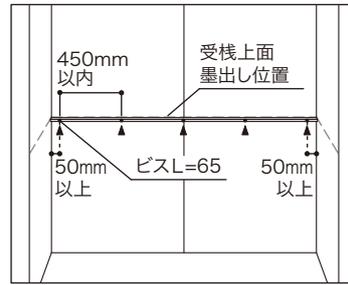
## 1 取り付け位置の墨出し



棚板の仕上がり上面より15mm下に、受棧上面の墨出しを行なってください。

## 2 後受棧の取り付け

下穴加工が必要です。



後受棧を間口寸法にカットし、φ3mm位の下穴を開けた後、後壁面にワッシャーを通したビスL=65で止め、ビスキャップを取り付けてください。

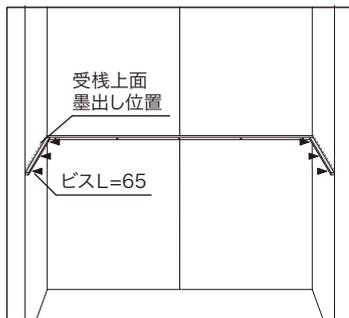
### 注意

- 受棧の取り付け向きにご注意ください。
- ビスは受棧の端から50mm以上離れた位置に打つようにしてください。
- ビス止めピッチは450mm以内で打つようにしてください。



## 3 側受棧の取り付け

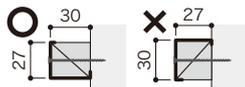
下穴加工が必要です。



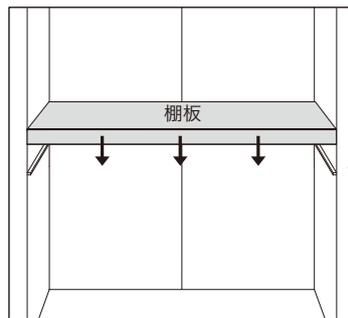
左右の側受棧にφ3mm位の下穴を開けた後、両側壁面にワッシャーを通したビスL=65で止め、ビスキャップを取り付けてください。

### 注意

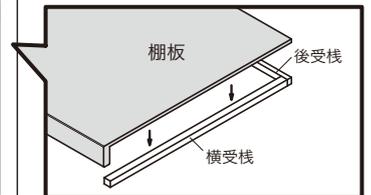
- 受棧の取り付け向きにご注意ください。
- 棚板の奥行を縮める場合「棚板仕上がり奥行」-50mmが側受棧寸法です。



## 4 棚板の取り付け



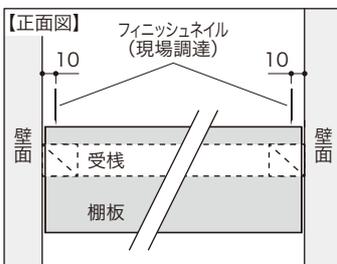
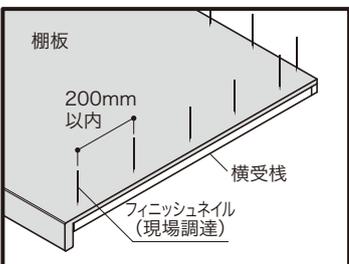
棚板を間口寸法に合わせてカットし、取り付けてください。  
カット目安寸法: 押入内寸法(間口)よりマイナス5mm



### 【真壁仕上げの場合】

奥行もカットしてください。  
カット目安寸法: 押入内寸法(奥行)よりマイナス3mm

## 5 棚板 受棧への固定



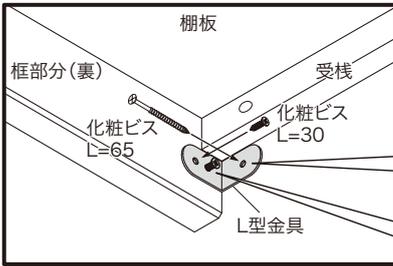
棚板をフィニッシュネイル(現場調達)で、受棧に固定してください。

### 注意

- フィニッシュネイルはピッチ200mm以内で打つようにしてください。
- フィニッシュネイルは壁から10mm程度の位置を目安に打ってください。
- 棚板は左右の隙間が均等になるよう設置してください。

## 6 棚板 前枠部分の固定

### 【大壁仕上げの場合】



L型金具を使って棚板を側壁に固定します。L型金具は受棧下部に高さを合わせて框裏両端に取り付けてください。

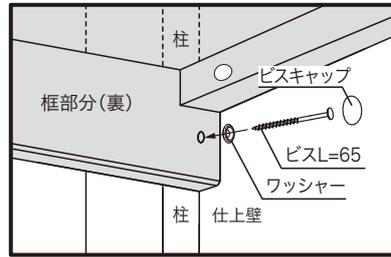
ビス穴が1カ所開いている側：下地へ向かって化粧ビスL=65で1カ所固定します。

ビス穴が2カ所開いている側：框へ向かって化粧ビスL=65で2カ所固定します。

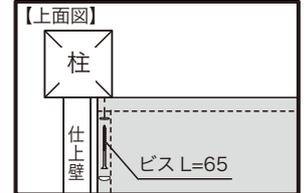
### 注意

L型金具取り付け向き・使用するビスの種類にご注意ください。

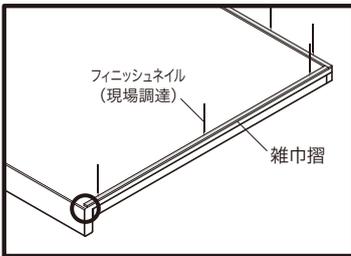
### 【真壁仕上げの場合】



棚板の框部分裏面から柱に向かって、ビスキャップ用ワッシャーを取り付けたビスL=65で固定します。その後ワッシャーにビスキャップを取り付けてください。



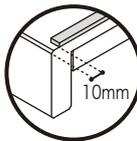
## 7 雑巾摺の取り付け



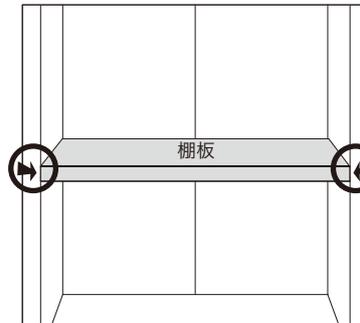
雑巾摺を適寸にカットし、棚板上の壁際にそってフィニッシュネイル(現場調達)で取り付けてください。

### 【大壁仕上げの場合】

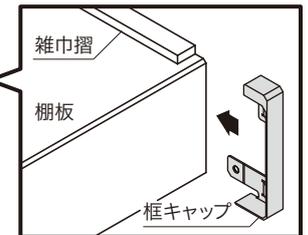
後から框キャップを取り付けるので框前面から10mmの寸法をあけて寸法取りを行なってください。



## 8 框キャップの取り付け 【大壁仕上げの場合のみ】

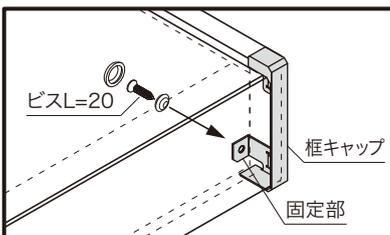


壁面と框部分の隙間に框キャップを差し込みます。



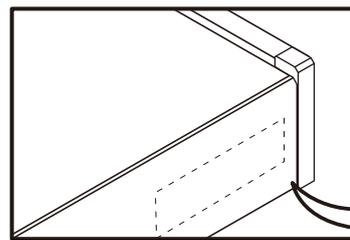
○ = 框キャップ取り付け部分

## 8 框キャップの固定 【大壁仕上げの場合のみ】

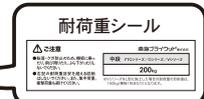


框キャップの固定部を框裏面に折り返し、ワッシャーを通したビスL=20にて框に固定し、ビスキャップを取り付けます。

## 9 完成・養生



同梱の耐荷重シールを見える箇所貼ってください。施工後は保護のため、中段を製品のダンボールで覆って養生してください。



# L型の施工手順

## ご注意

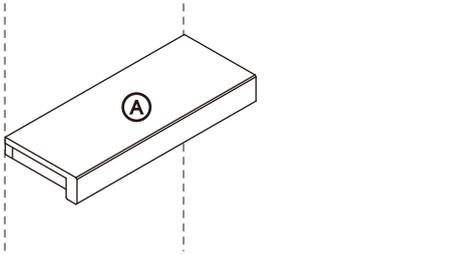
- L型施工を行なう場合は、別売品「ジョイントフィラー」をお求めください。
- 中段をL型に組む場合は、間口の短い方の中段を両壁納めにしてください。

※受棧(後・側)を固定の際に直接ビスをねじ込むと割れる可能性があります。あらかじめφ3mm位の下穴を開けておいてください。

※ビスの種類、打ち位置、本数は **ビス打ちの基本本数・打ち位置** をご参照ください。

※間口2M以上の場合は必ず **間口が2M以上の場合の補強方法** をご参照ください。

## 1 A 中段の取り付け



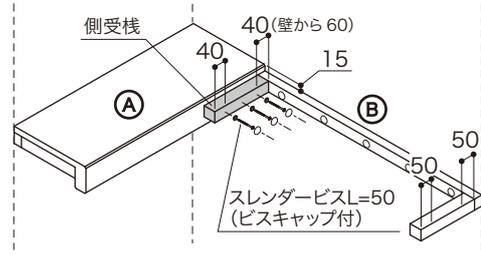
間口が狭い方の中段(A)を同梱の施工説明書に沿って棚板の取り付けまで行ないます。

### ご注意

雑巾摺と枠カバーは(B)の棚板施工後に取り付けます。

## 2 B 受棧の取り付け

下穴加工が必要です。

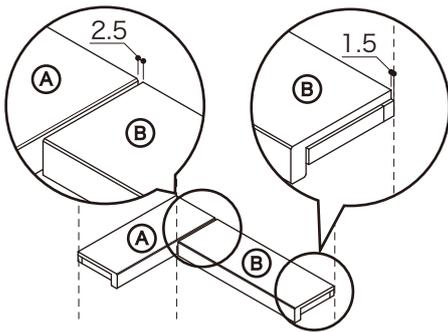


1) 壁に固定する(B)の受棧にφ3mm位の下穴をあけた後、中段セットに同梱のビスL=65(ビスキャップ付)で固定してください。  
※側受棧は両端から50mmの位置と、その中央の3箇所を固定してください。

2) (A)の枠に取り付ける(B)の側受棧の両端から40mmの位置と、その中央の3箇所にφ3mm位の下穴をあけた後、ジョイントフィラーに同梱のスレンダービスL=50(ビスキャップ付)で固定してください。

## 3 B 棚板の取り付け / 雑巾摺・枠カバーの取り付け

下穴加工が必要です。

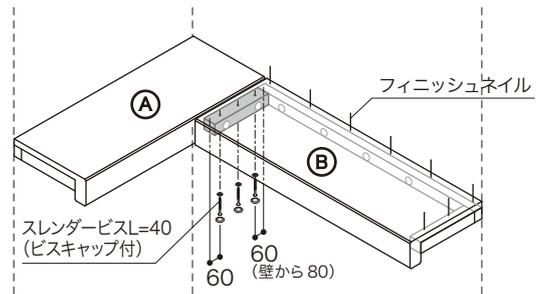


1) (B)の棚板間口をカットし、(B)の受棧に載せます。

棚板間口カット寸法:

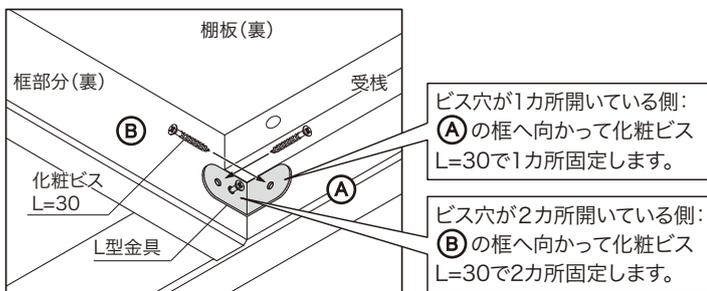
(B)棚板幅 = (A) 枠前 ~ 反対壁寸法) - 4mm

(A)の枠前部と(B)の棚板の隙間は2.5mm、(B)の棚板と反対壁の隙間を1.5mm空けます。



2) (B)の棚板を上からフィニッシュネイルで固定します。

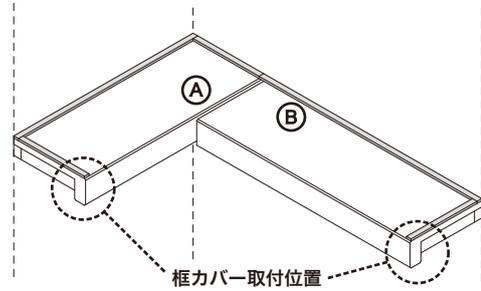
(A)の枠に取り付けた(B)の側受棧の両端から60mmの位置にφ3mm位の下穴をあけた後、ジョイントフィラーに同梱のスレンダービスL=40(ビスキャップ付)で固定してください。



3) L型金具を使って(B)の枠と(A)の枠を固定します。L型金具は受棧下部に高さを合わせて枠裏両端に取り付けてください。

### ご注意

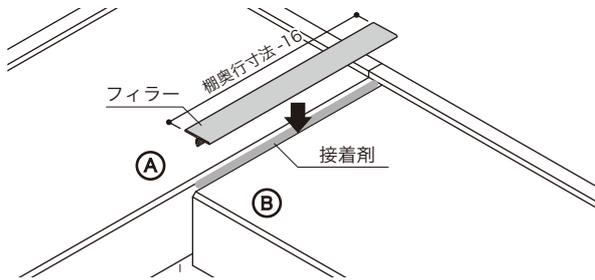
L型金具取り付け向き・使用するビスの種類にご注意ください。  
L型施工の場合、中段セットに同梱の化粧ビスL=65は使わずジョイントフィラー同梱の化粧ビスL=30をご使用ください。



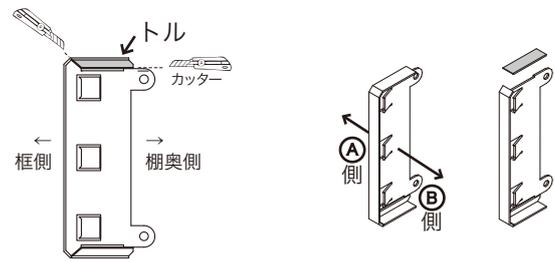
棚板固定後、(A)と(B)の雑巾摺と枠カバーを取り付けます。

#### 4 ジョイントフィラーの取り付け

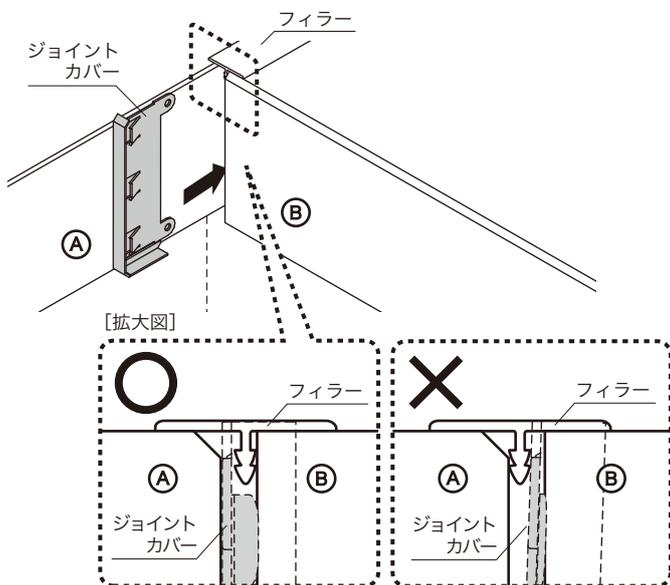
下穴加工が必要です。



- 1) (A) (B) の棚板の接続部分の隙間に、上から接着剤(ウレタン系)を塗布し、フィラーを取り付けます。  
 (B) の棚板の奥行寸法をカットしている場合は、あらかじめフィラーを棚奥行寸法-16mmの長さにカットします。



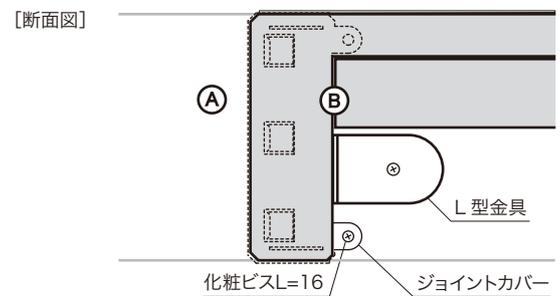
- 2) ジョイントカバーの取付方向を確認し、ジョイントカバーの上部分(上图のグレー部分)を溝にそってカッター等で切り取り、取り外します。



- 3) ジョイントカバーを (A) の框と (B) の棚板の間に差し込みます。

#### 注意

ジョイントカバーは、フィラーの足の部分より (A) 側に沿わせるように差し込んでください。[拡大図参照]



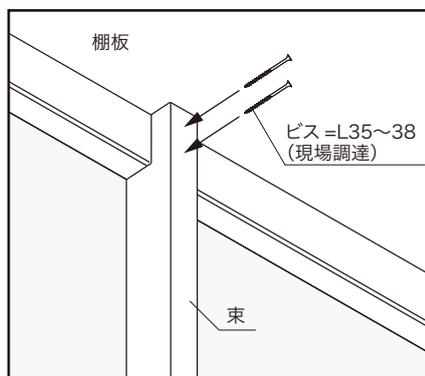
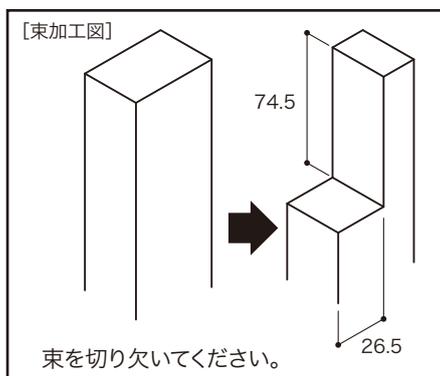
- 4) ジョイントカバーの貫通穴に化粧ビスL=16で (A) の框に向かって固定します。

# 間口が2M以上の場合の補強方法

間口が2M以上の製品には束を同梱しています。施工時には同梱の束で補強してください。(下図参照)

2Mまでの製品をL型に組むことにより総間口が2Mを超える場合は、別売りの束を購入いただき必ず補強してください。

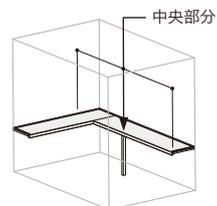
## 束の取り付け



### 注意

束はP8 **ビス打ちの基本本数・打ち位置**、**束取り付け位置** を参考に取り付けてください。

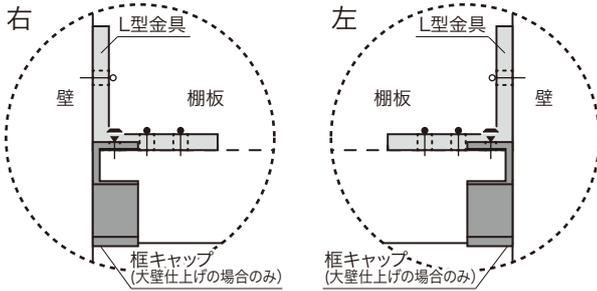
L型の場合、スペースの間口の中央部分に取り付けてください。



# ビス打ちの基本本数・打ち位置

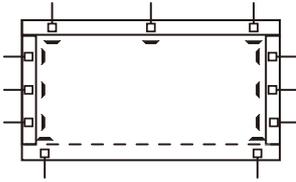
↑ ビスL=65	↑ 化粧ビスL=65	↑ 化粧ビスL=30
↑ ビスL=20	ー ビスキャップ	

## 框キャップ・L型金具について [全サイズ共通]



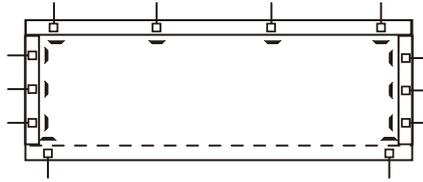
※框部分へのビス打ちは真壁仕上げの場合のみです。  
大壁の場合はビスL=65(2本)、ビスキャップセット(2セット)は  
予備となります。

## 3尺/1M



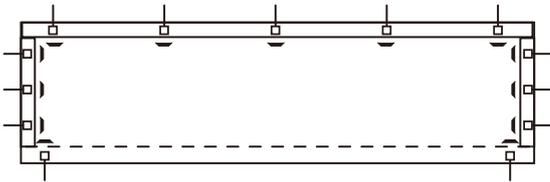
棚板・受棧用	明細	入数
	L=65 ビスキャップ	11本 11セット
框キャップ用	L=20 ビスキャップ	2本 2セット
	L型金具用	化粧ビス L=30 化粧ビス L=65

## 4.5尺/1.5M



棚板・受棧用	明細	入数
	L=65 ビスキャップ	12本 12セット
框キャップ用	L=20 ビスキャップ	2本 2セット
	L型金具用	化粧ビス L=30 化粧ビス L=65

## 6尺/2M



棚板・受棧用	明細	入数
	L=65 ビスキャップ	13本 13セット
框キャップ用	L=20 ビスキャップ	2本 2セット
	L型金具用	化粧ビス L=30 化粧ビス L=65

## 9尺/3M



棚板・受棧用	明細	入数
	L=65 ビスキャップ	15本 15セット
框キャップ用	L=20 ビスキャップ	2本 2セット
	L型金具用	化粧ビス L=30 化粧ビス L=65

## 建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

この建築材料は以下の内容で登録しています。

発散等級区分: F☆☆☆☆

対象部位: 棚板

### 注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

(一社)日本建材・住宅設備産業協会	
発散等級	F☆☆☆☆
登録番号	K-002444
製造業者等名称	南海プライウッド株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	<a href="https://www.kensankyo.org/">https://www.kensankyo.org/</a>